

技術データ

ラジアル遊び

ラジアル・ベアリング遊びは室温で測定される値であり、一方の端位置から反対側の端位置までの半径方向に内輪が外輪に対して相対的に移動できる程度を調べるために使用されます。

d ₁	ラジアル遊び [mm]	
	最小	最大
5	0,005	0,030
6	0,005	0,030
8	0,005	0,030
10	0,005	0,030
12	0,005	0,035
14	0,005	0,035
16	0,005	0,035
18	0,005	0,035
20	0,005	0,045
22	0,005	0,045
25	0,005	0,045

使用温度範囲

使用温度範囲は -50°C ~ 150°Cです。

キャリング値

キャリング値は、使用される材料の材質データに由来するベアリング固有の特性です。これらはロッド端を選択する補助手段として使用されます。荷重を増加または交互に与える場合には、ロッド端ハウジングの動的強度を別途検討する必要があります。

静的キャリング値 C₀

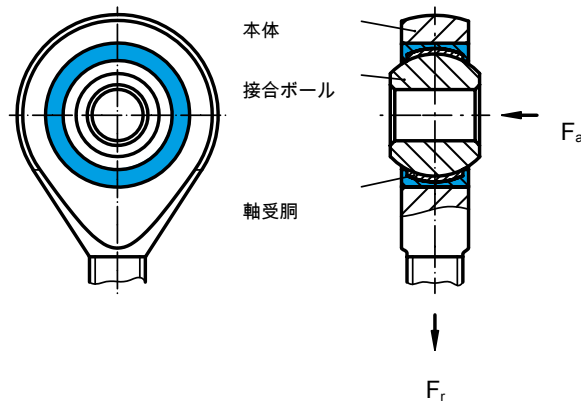
C₀ は、最も弱い断面が変形せずにロッド端が耐えることができる、静止状態で許容されるラジアル荷重を特定します。指定されたC₀値はそれぞれの材料特性に基づく計算によって決定され、室温での引張試験に対してロッドが代表値となります。各試験は耐力の80%が使用されることを想定しており、安全率1.25が組み込まれています。

また、静的キャリング値 C₀ は、許容される軸荷重を計算するのに使用されます。ロッド・シャフトで生じる追加の曲げ応力により制限されますが、主に内部部品で制限されます。

押抜き試験は、最大軸力を設定するために使用されました。

$$F_a = 0,4 \times C_0$$

半径方向力と軸力



動的値 C

指定した動的キャリング値は、動的応力 (すなわち、揺れや転倒によりかかる荷重) を受ける場合に、ロッド端が享受できる耐用年数計算の基礎データとなります。ただし、こうした数値は単に軸受部だけに適用されているだけであるため、ロッド端ハウジングに適用できません。

注油

メンテナンス不要ロッド端は再注油する必要がありません。軸受胴に埋め込まれたPTFEフアブリックの上を内輪がスライドします。

傾斜角

傾斜角はバージョンごとに異なります。製品データ表で確認ください。

